

# 横浜市感染症発生動向調査報告 3月

## 《今月のトピックス》

- インフルエンザの定点あたり報告数が流行警報解除基準値(10.00)を下回りました。
- 流行性耳下腺炎の報告が例年より多い状態が続いています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈3月期に報告された全数把握疾患〉

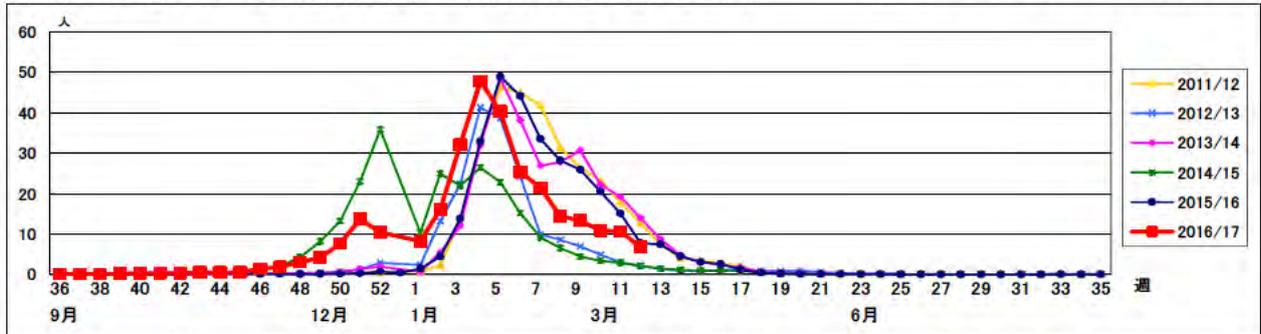
細菌性赤痢	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
腸管出血性大腸菌感染症	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	8件
E型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	13件
レジオネラ症	3件	梅毒	19件
アメーバ赤痢	6件	播種性クリプトコックス症	3件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5件	風しん	2件
急性脳炎	6件	麻しん	2件

- 1 細菌性赤痢:1件の報告があり、国内での経口感染と推定されています。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:タイでの経口感染と推定されるO111の報告が1件、エジプトでの経口感染と推定されるO不明の報告が1件ありました。
- 3 E型肝炎:1件の報告がありましたが、感染経路等不明でした。
- 4 レジオネラ症:肺炎型の報告が2件、ポンティアック熱型の報告が1件ありました。
- 5 アメーバ赤痢:6件の腸管アメーバ症の報告がありました。感染経路は、国内での性的接触が2件(異性間1件、同性間1件)、インドまたはバングラデシュでの感染経路等不明が1件、感染地域および感染経路等不明が3件でした。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:5件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 7 急性脳炎:6件の小児の報告があり、迅速キットにてインフルエンザAが2件、インフルエンザBが1件、病原体不明が3件でした。
- 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:2件が報告され、うち1件がG群で、1件はB群でした。
- 9 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む):AIDSの報告が2件(同性間性的接触1件、感染経路不明1件)、無症状病原体保有者の報告が5件(同性間性的接触が3件、異性間性的接触が2件)、その他の報告が1件(同性間性的接触)でした。男性7件、女性1件でした。
- 10 侵襲性肺炎球菌感染症:13件の報告があり、うち1件の小児についてはワクチン接種歴が確認されました。12件(40~90歳代)についてはワクチン接種歴を確認できませんでした。
- 11 梅毒:19件の報告(無症状病原体保有者6件、早期顕症梅毒Ⅰ期4件、早期顕症梅毒Ⅱ期9件)がありました。国内での感染が16件、東南アジア(詳細不明)が1件、感染地域不明が2件で、男性15件、女性4件でした。感染経路は、異性間性的接触が12件、同性間性的接触が1件、詳細不明の性的接触が4件、感染経路不明が2件でした。
- 12 播種性クリプトコックス症:3件の報告があり、いずれも免疫不全によるものと推定されています。
- 13 風しん:2件の報告がありました。1件は60歳代でインドでの感染と推定され、ワクチン接種歴は確認できませんでした。もう1件は10歳代の臨床診断例で国内での感染と推定され、ワクチン接種歴(2回)が確認されています。
- 14 麻しん:2件の報告がありました。1件は40歳代で、タイでの感染と推定されています。もう1件は20歳代の修飾麻しんで、詳細については調査中です。いずれもワクチン接種歴は確認できませんでした。

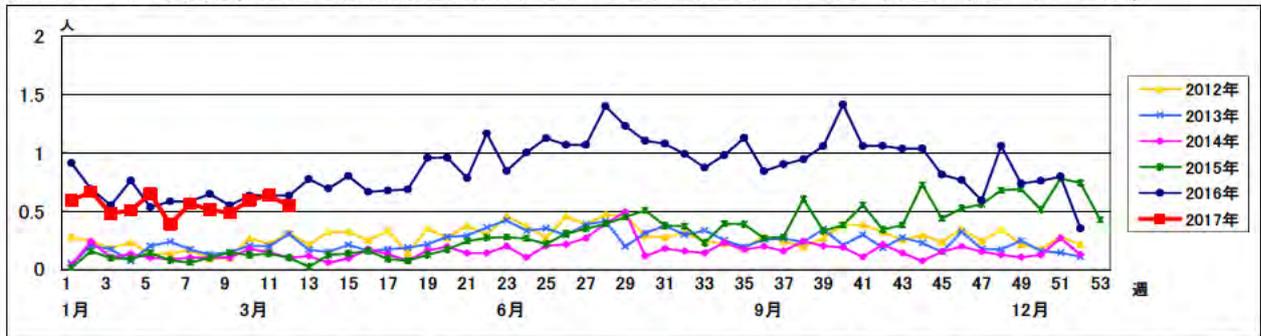
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第 7週	2月13日～2月19日
第 8週	2月20日～2月26日
第 9週	2月27日～3月 5日
第10週	3月 6日～3月12日
第11週	3月13日～3月19日
第12週	3月20日～3月26日

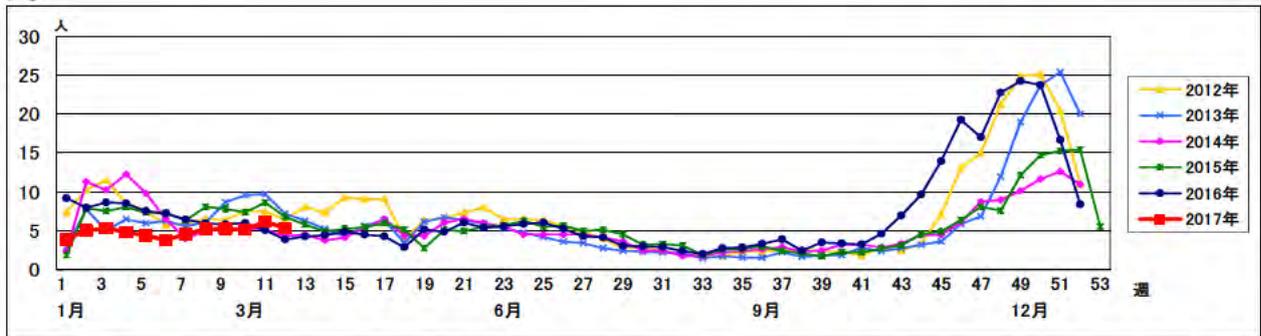
- 1 インフルエンザ: 第46週で定点あたり1.39にて流行入り(目安:1.00)、第51週で13.67にて注意報発令(基準値:10.00)、第3週で32.07にて警報発令(基準値:30.00)となりました。第4週の47.83をピークとして漸減し、第12週で6.76にて警報解除基準値(10.00)を下回りました。



- 2 流行性耳下腺炎: 第12週で定点あたり0.54と、昨年と同様に報告が多い状態が続いています。



- 3 感染性胃腸炎: 第48週で定点あたり22.73となり、例年に比べて早く警報発令されました。第49週の24.24をピークとして漸減し、第52週には警報解除基準値(12.00)を下回り、第12週は5.33となっています。



- 4 性感染症: 2月は、性器クラミジア感染症は男性が23件、女性が17件でした。性器ヘルペス感染症は男性が3件、女性が11件です。尖圭コンジローマは男性6件、女性が3件でした。淋菌感染症は男性が12件、女性が3件でした。
- 5 基幹定点週報: 細菌性髄膜炎は第7週0.00、第8週0.00、第9週0.25、第10週0.00、第11週0.00、第12週0.00と報告されています。マイコプラズマ肺炎は第7週0.75、第8週0.75、第9週0.50、第10週0.33、第11週0.50、第12週0.67と報告されています。インフルエンザによる入院は第7週2.75、第8週2.50、第9週2.75、第10週0.25、第11週1.25、第12週2.00と報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は第7週0.75、第8週1.75、第9週1.25、第10週1.67、第11週0.75、第12週0.00と報告されています。無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 6 基幹定点月報: 2月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が6件で、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

3月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点47件、内科定点18件、眼科定点3件、基幹定点6件で、定点外医療機関からは2件でした。

4月7日現在、ウイルス分離35株と各種ウイルス遺伝子21件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(3月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ *1	R S 感 染 症	ア デ ノ 感 染 症 *2	胃 腸 炎	流 行 性 耳 下 腺 炎
アデノ 2型	1						
アデノ 型未同定	3		1		1		
インフルエンザ AH1pdm09型			2				
インフルエンザ AH3型			14 1				
インフルエンザ B型ビクトリア系統	1		13				
インフルエンザ B型山形系統			3				1
パラインフルエンザ 2型	2						
ヒトメタニューモ	3	2					
ライノ	2	1					
RS				1			
ロタ						3	
ノロ						1	
合計	2 10	0 3	32 2	0 1	0 1	0 4	1 0

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

\*1:疑いを含む、\*2:咽頭結膜熱を含む

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

3月の「感染性胃腸炎」は基幹定点から4件、その他の医療機関から2件でした。基幹定点からは腸管出血性大腸菌(O111:H-,VT1)、腸管凝集性大腸菌(O86a:H-)、*Salmonella* Rissenが検出され、その他の医療機関からは*Shigella sonnei*と腸管出血性大腸菌(OUT,VT1)が検出されました。

「その他の感染症」は小児科定点から4件、基幹定点から24件、定点以外の医療機関から21件でした。定点以外の医療機関のバンコマイシン耐性腸球菌は*Enterococcus faecium vanA*、その他では*Helicobacter cinaedi* 1件と*Cryptococcus neoformans* 1件が検出されています。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(3月)

感染性胃腸炎							
菌種名	検査年月 定点の区別 件数	3月			2017年1月～3月		
		小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
		0	4	2	0	18	8
赤痢菌				1			1
腸管出血性大腸菌			1	1		2	4
腸管凝集性大腸菌			1			4	
サルモネラ属菌			1			3	2
不検出		0	1	0	0	9	1

その他の感染症							
菌種名	検査年月 定点の区別 件数	3月			2017年1月～3月		
		小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
		4	24	21	9	63	76
A群溶血性レンサ球菌	T1	2			2		
	T4	1			3		
	T6				1		
	T B3264	1			1		
	型別不能				1		
B群溶血性レンサ球菌							3
G群溶血性レンサ球菌							2
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌				2			2
バンコマイシン耐性腸球菌				1			1
レジオネラ属菌				2			3
インフルエンザ菌					1		
肺炎球菌							3
結核菌			20	9		20	44
百日咳菌						2	
その他			2	7		39	15
不検出		0	2	0	0	2	3

\*: 定点以外医療機関等(届出疾病の検査依頼)

T(T型別): A群溶血性レンサ球菌の菌体表面のトリプシン耐性T蛋白を用いた型別方法

【 微生物検査研究課 細菌担当 】